

モザンビーク・ブラジル・日本 3カ国民衆会議 &「小農権利国連宣言」採択間近イベント

「モザンビーク農民の“No”」の 歴史的ルーツを辿る ～小川忠博氏の写真とともに

撮影：小川忠博

11月下旬、日本で初開催される、「モザンビーク・ブラジル・日本 3カ国民衆会議」に参加するためアフリカのモザンビークから6名の農民が来日します。これらの農民は、同国の北部で行われている日本の大規模農業開発事業「プロサバンナ」に対し、過去6年ものあいだ「No」の声をあげ続けてきました。その結果、農民たちは弾圧や脅しを受け、また関係の深い団体との分裂がはかられ、孤立させられています。

それでもなお、農民たちは事業に「No」の声をあげ続けています。

農民とともに活動をする中で、わたしたちは、なぜ農民たちが怖い思いをしながら「No」という強い意志を示し続けられるのか、時に不思議に思うことがありました。最近、写真家・小川忠博さんのルポタージュ『太陽』(1973年)を手にする機会を得て、その歴史的ルーツに、つい40年ほど前まで植民地から独立を勝ち取るために、同じ地域で農民が闘っていた事実があることに改めて気づかされました。

今回の「3カ国民衆会議」では、課題を議論するだけでなく、「アグロエコロジー」と「食の主権」を新しい動きとして紹介しますが、これらの概念の基盤には尊厳の主権(自己決定権)回復があります。モザンビークの農民は、「上から開発・援助を押しつけないでほしい。農民はオルタナティブな実践を日々営む主権者なのだ」と訴えてきました。

いま、世界規模の農民運動の取り組みが突り、国連総会で「小農の権利国連宣言」が採択されようとしています。この宣言は、国際法が小農を尊厳ある主権者として位置づける画期的なものです。この機会を活かし、小川忠博さんをお招きし、植民地解放のための闘いを取材した当時の写真や音声を紹介いただき、現在の農民の「No」の歴史的ルーツから、「No」が単なる否定ではなくオルタナティブを含んでいること、小農の尊厳・主権などについて議論し、考えます。ぜひご参加ください。

【登壇者(報告・議論)】



小川忠博 写真家

週刊誌、月刊誌の取材のかたわら、各種スリットカメラなどを開発し、美術・考古分野に新しい視点を提供する。1973年『太陽』(平凡社)にて、モザンビーク解放闘争をルポ。著書に『森と精霊と戦士たち・ポルトガル領アフリカ解放闘争写真報告』(巫紀書房)、『ゲリラの朝』(朝日ソノラマ)、『展開写真による中国の文様』(平凡社)、『縄文土器大観』全4巻(小学館)など。著書準太陽賞、準朝日広告賞を受賞のほか、2010年には文化庁長官表彰を受ける。

船田クラーセンさやか

モザンビーク開発を考える市民の会 明治学院大学国際平和研究所研究員。国際関係学博士。元東京外国語大学大学院教員。現在、自給農を目指しながら、ヨーロッパ・アフリカ・南米の小農や研究者・市民社会をつなぐ活動に従事。主・共著書に『モザンビーク解放闘争史』(御茶の水書房)、『解放と暴力ー植民地支配とアフリカの現在』(東京大学出版会)。編著に『アフリカ学入門』。

津山直子

アフリカ日本協議会(AJF) 86年スウェーデンで反アパルトヘイト運動に関わり、帰国後ANC(アフリカ民族会議)東京事務所勤務。92年よりJVC職員となり、09年4月まで南アフリカ現地代表。06年、ニューズウィーク誌の「世界が尊敬する日本人100人」に選ばれる。現在AJF代表。

渡辺直子

国際ボランティアセンター(JVC) 2005年JVCに参加。2013年から日本がモザンビークで行うODA事業「プロサバンナ」に関連して、モザンビーク小農組織との合同調査を開始、現在までに10回の現地調査を行う。アフリカ、モザンビーク、ブラジル、カナダの農民や市民社会組織とともに、アドボカシー活動を展開。

2018.11.10(土) 16:00～18:00(15:30開場)

【会場】日本国際ボランティアセンター(JVC) 事務所

【アクセス】東京都台東区上野5-3-4 クリエイティブOne秋葉原ビル6階 TEL:03-3834-2388

JR「秋葉原駅」中央改札口、JR「御徒町駅」南口からそれぞれ徒歩7分。

東京メトロ銀座線「末広町駅」から徒歩5分。

【参加費】500円(学生無料)

【お申込み・お問い合わせ】日本国際ボランティアセンター(JVC) TEL:03-3834-2388 担当:渡辺

以下のサイト、<https://ssl.form-mailer.jp/fms/65cbd7d6594848> よりお申込みください。電話申込み受け付けています。

【主催】特定非営利活動法人 日本国際ボランティアセンター(JVC)、特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会(AJF)、モザンビーク開発を考える市民の会

【後援】3カ国民衆会議実行委員会